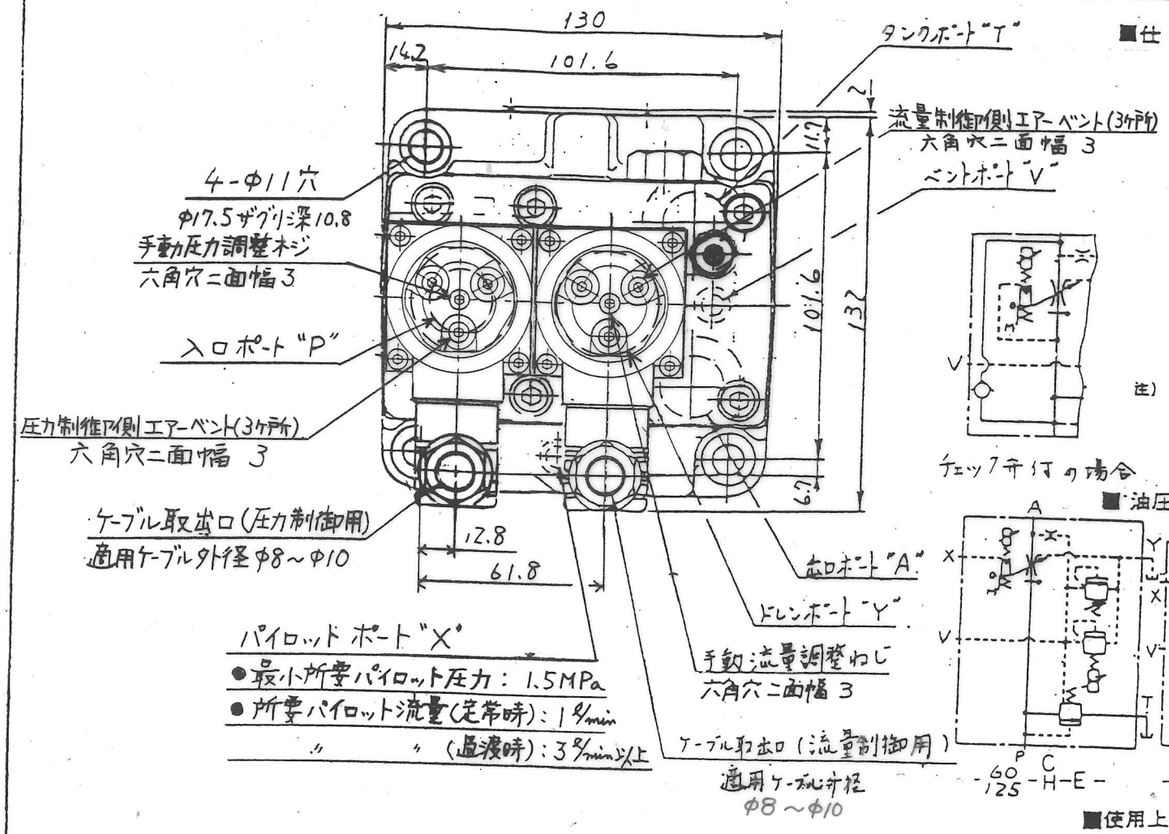


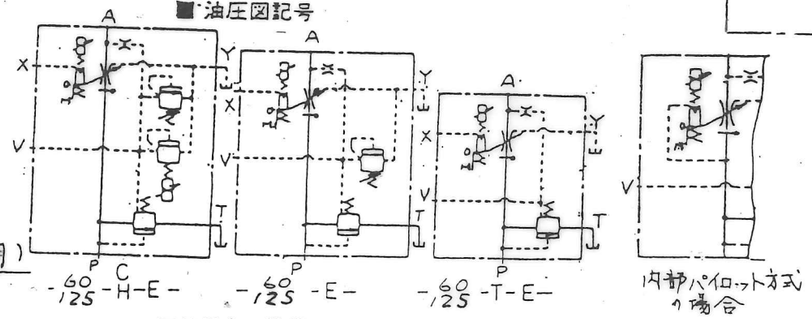
チェック弁付の場合

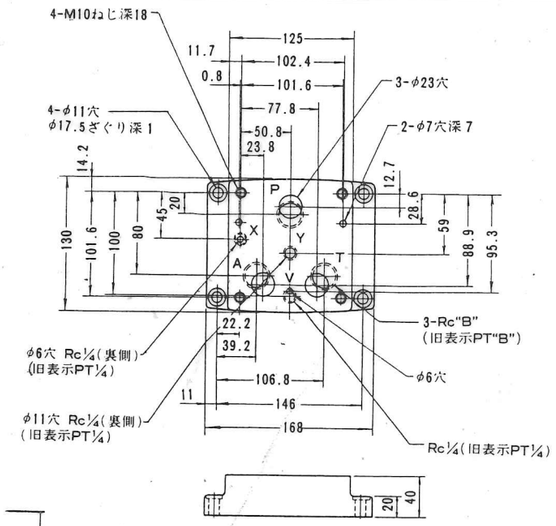
■仕様

最高使用圧力 MPa			24.5
定格流量 ℓ/min			125
流量調整範囲 ℓ/min			1～125
流量制御系	弁差圧 MPa		0.7
	ヒステリシス		3%以下 注1)
	繰返し性		1% 注3)
	定格電流 mA		750
	コイル抵抗 Ω		10
圧力制御系	圧力調整範囲 MPa 注2)	調整範囲：C	1.4～15.7
		調整範囲：H	1.4～24.5
	ヒステリシス	〃	3%以下 注1)
	繰返し性		1% 注3)
	定格電流 mA	圧力調整範囲：C	850
		圧力調整範囲：H	900
	コイル抵抗 Ω 注2)		10

注) 1. 油研製専用パワー増幅器を使用した場合の値です。
2. この仕様は比例電磁式パイロットリリーフ弁付に適用されます。
3. 同一使用条件における弁単体の場合の値です。

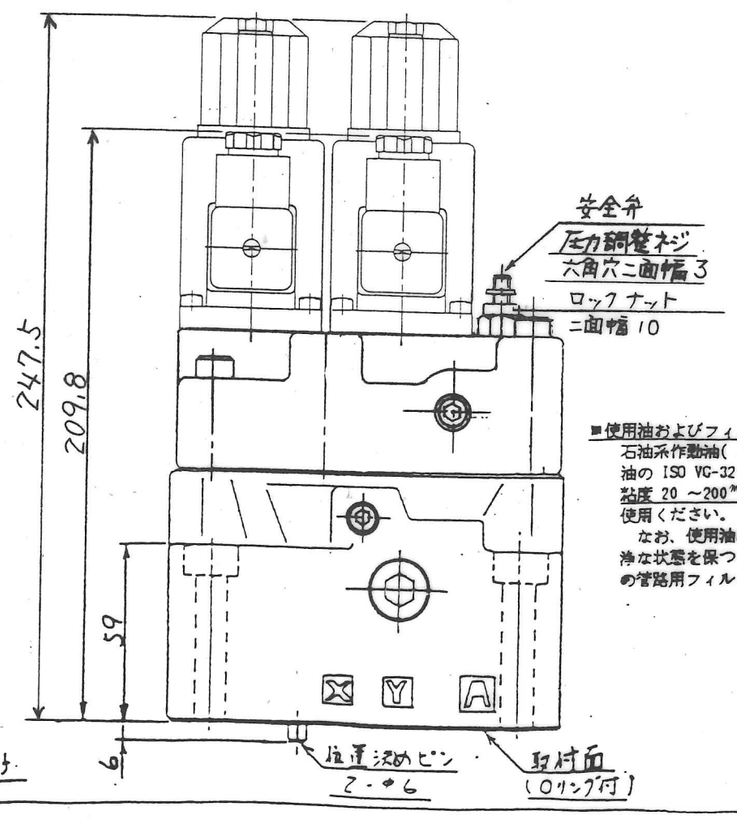
■油圧図記号





サブプレートモデル番号	B
EFBGM-03Y-20	¾
EFBGM-03Z-20	1

サブプレートをご使用の場合は上記モデル番号にてご注文ください。なお、サブプレートをご使用にならない場合は弁取付面を6-S程度に仕上げてください。



重量：約14kg

■使用油およびフィルトレーション

石油系作動油(JIS K 2213の2種；添加タービン油のISO VG-32～56相当油)を油温-15～+70℃，粘度20～200mm²/sの両条件を満足する範囲でご使用ください。

なお、使用油は常に汚染度；NAS 10級より清浄な状態を保つとともに、弁入口には20μ以下の管路用フィルターを設けてご使用ください。

■使用上の注意

1. 空気抜き
安定した制御を行うために、エアーベントを緩めて空気抜きを行いソレノイドケース内に油を充満させて下さい。
なお、エアーベントは圧力制御側，流量制御側ソレノイドに各々3ケ所ありますので、最も空気が抜ける位置から操作して下さい。

2. 手動調整ねじ
初期調整または電気的な故障などで、ソレノイドに入力電流がない場合に、手動調整ねじを回すことにより弁の圧力および流量を設定することができます。通常の場合は、必ず手動調整ねじを完全に戻しておいて下さい。

3. ドレンポート
ドレンポート背圧は最低調整圧力に加算されますのでご注意ください。
ドレン配管はできるだけ低い背圧で直接油タンクの油面下へ接続して下さい。

4. 安全弁の設定圧力
安全弁は最高調整圧力に2MPa加算した圧力に設定してあります。実際に使用される圧力に合せて適宜調整して下さい。安全弁調圧ねじを反時計方向に回すと圧力は下がります。なお調整後は必ずロックナットを締めて下さい。

5. 圧力制御状態においてリリーフ弁通過流量が小流量の場合
設定圧力が不安定になることがありますので、通過流量は15ℓ/min以上でご使用下さい。また、タンクポート背圧は0.5MPa以下でご使用下さい。

■モデル番号の構成

F-EFBCG-03-125-C-E-61

- 61：設計番号
- E：内部パイロット方式の場合のみ記入
- C：比例電磁式パイロットリリーフ弁の圧力調整範囲
  - T：比例電磁式パイロットリリーフ弁なし，安全弁なし
  - 無記号：〃 〃，安全弁付
  - C：1.4～15.7MPa，〃
  - H：1.4～24.5MPa，〃
- 125：最大調整流量(ℓ/min) 60，125
- 03：大きさの呼び
- G：サブプレート取付形
- C：チェック弁付の場合のみ記入
- B：比例電磁式リリーフ弁付流量調整弁
- F：りん酸エステル系作動油使用の場合のみ記入

■付属品　六角穴付ボルト M10×65ℓ … 4本

SKIN	日付 DATE '97-7-23	製図 DRAWN 大谷	YUKEN KOGYO CO., LTD.
DATE	承認 APPROVED 野瀬	検図 CHECKD 河原	形式 MOCEL NO. (F)-EFB*G-03-125-※-※-61 (60)
REVISIONS	三角法 THIRD ANGLE PROJECTION		名称 NAME 3/8 比例電磁式リリーフ弁付流量調整弁 3/8 PROPORTIONAL ELECTRO-HYDRAULIC RELIEF AND-FLOW CONTROL VALVES
SYM	FILE NO. 646		図番 DWG NO. VA3 17582-5-0